

柳大使のFAO主催 プロジェクト終了式典への出席

4月9日、柳大使は、我が国の支援を受けてFAOが実施したプロジェクト「ホストコミュニティのシリア難民及び脆弱なヨルダン人農家に対する社会安定化及び生計支援(Social Stability and Resilient Livelihoods for Syrian Refugees and Vulnerable Jordanian Farm Families from Hosting Communities)」の終了式典に出席し、スピーチを行いました。我が国は、平成29年度補正予算により、上記FAO案件に対し、1,000,000 USD の支援をしています。本事業には、実施パートナーとして、WFPの他、日本のNGO「NICCOD」が協力しています。

式典では、本使の他、アル・シャハーデ農業大臣(Mr. Ibrahim Al Shahahda)、ハグ・エラミン FAO ヨルダン事務所代表(Mr. Nasredin HagElamin)、がスピーチを行い、アター(Mr. Amjad Attar)プロジェクト・マネージャーがプロジェクトの概要及び成果をプレゼンテーションするとともに、本プロジェクトに参加した裨益者代表の女性2名が、プロジェクトに参加した感想を述べました。また、会場には同プロジェクト参加者が生産したジャムやピクルスの展示・販売され、試食の機会も用意されました。

終了式典には、多くのプロジェクト裨益者も参加しており、出席はじめとする多くの出席者及びFAO関係者より、我が国の支援に対する謝意が繰り返し表明されました。



プロジェクト関係者との記念撮影



NICCODへの記念品授与



プロジェクト参加者らによる商品

